

## たねとしずくライブラリー

# 0歳～10代の若者の居場所オープン

当団体はひとり親家庭・困窮世帯のこどもたちが、こども時代をこどもらしく過ごせるようさまざまな取り組みを行っています。この度、こども・若者達が本のある空間で安心して過ごせる常設の居場所を六湛寺町12-5にオープンすることになりました。つきましては8月2日のオープンに先立ち前日に内覧会を行いますので、ぜひ、ご都合のよい時間にお越しいただき、取材をしていただければ幸いです。

### 開館概要

一箱本棚サポーターの寄付によって集まった本をこども達が手にとって読み、借りていくことができます。希望すればキッチンを利用して料理を作ることができ食事をとれます。2階では、静かに自習したり、くつろぐことができます。

・広さ：2階建て一軒家（各階30平米）

1階はキッチンを備えた図書スペース 2階は自習室（wifi完備）

・開館日：水・木・金（左記以外の時間は当団体イベントやレンタルスペースとして利用予定）

・開館時間：①10時～15時 0歳からのインクルスペース（乳幼児の親子やこども達の日中の居場所）

②15時～20時 放課後の居場所（小学生は17時まで）

・財源：①助成金「地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査」（内閣官房）

②助成金「ユースセンター起業塾」（カタリバ）

③寄付金

### 背景

当団体では、これまで多くのひとり親家庭の支援を行ってきました。毎月行っている食料提供では、昨年12月から7回開催し、223家庭（実数53家庭）に配布しました。また、親の疾病やケガ、多忙などの理由で家事支援を利用しているご家庭が7家庭あります。そのような家庭と付き合っている中でこども達が親以外の大人と接する機会や文化的な体験が少ないことや、発達の課題を抱えたこども達が多いことなどに気付きました。当団体が行った「経済状況アンケート」（2023年5月13日～23日）では次のような回答が得られました。

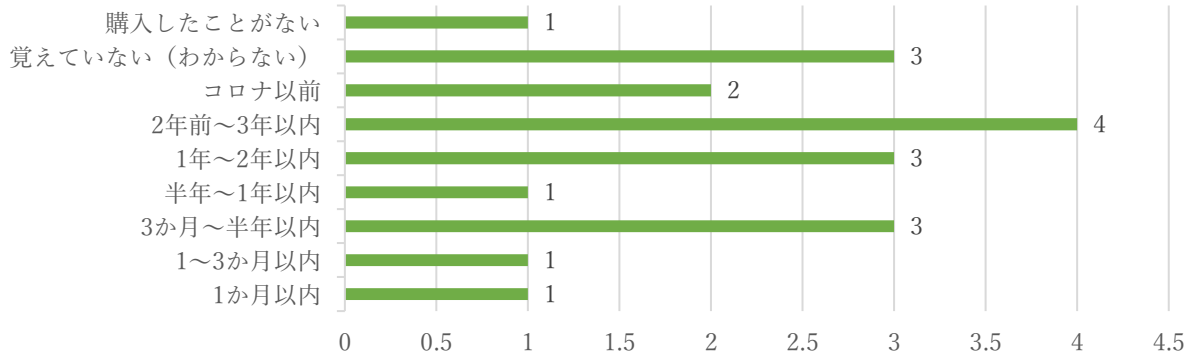
① 中学生以上のこどもに対しては、1年以内に本を購入した経験がある家庭は全体19家庭に対して、6家庭でした。

② 物価高騰の影響により、お子さんの学習や教育に関する支出に変化があったと答えた家庭37家庭の62.2パーセントが学校外での学習にかかる費用を減らす（または減らす可能性がある）と答え、こどもたちの学習に関して費用を抑制していることがわかりました。

チャンスフォーチルドレンによる「学校外での体験がない子どもの割合」の調査結果を見ても、経済格差が体験格差につながっていることが明らかになっています。

## 最後にこどもに本を買ったのはいつですか？

(中学生以上 n=19)



※「学習・教育支出を減らした（または減らす可能...があるものを教えてください。(複数回答あり) 37件の回答

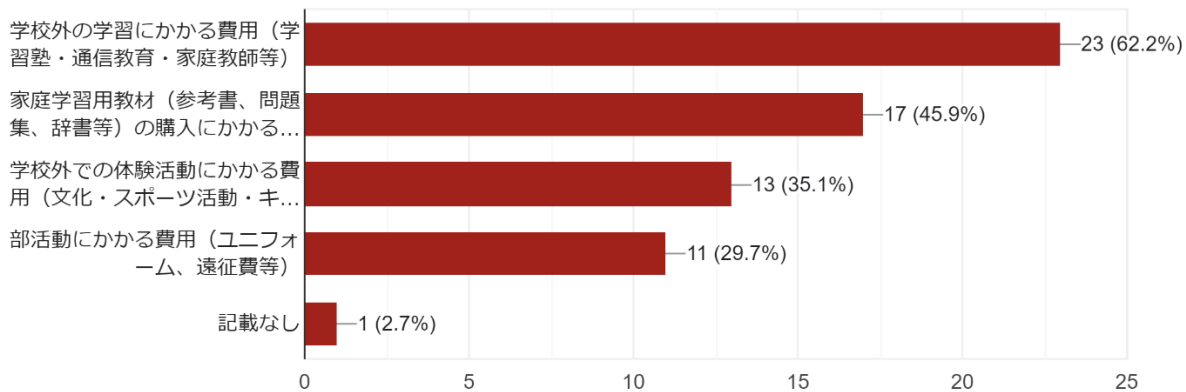
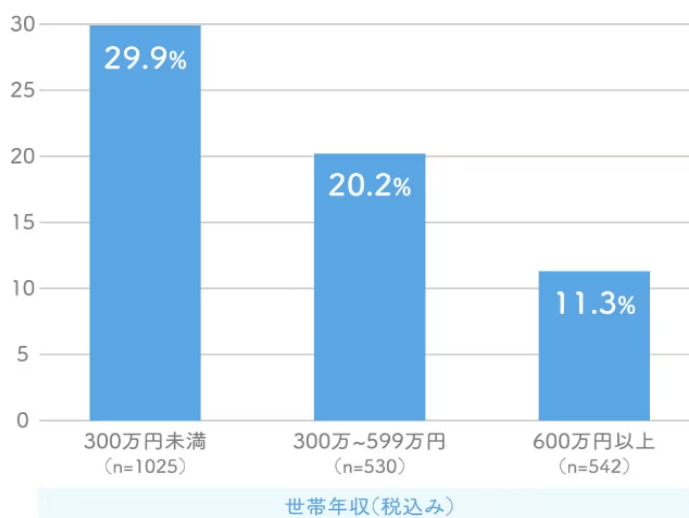


図1 学校外の体験がない子どもの割合(直近1年間)



出所:公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン「子どもの『体験格差』実態調査中間報告書 (2022年12月)」を基に東洋経済作成

## 開設の目的

当団体が支援しているひとり親家庭の7割がなんらかの手当を受け取っている低所得の家庭です。子ども達にとっては体験や学習、本などの文化財へのアクセスが難しい状況があります。当団体はすべての子ども達が学びや好奇心を育める機会を持ち、将来への選択肢を広げられるよう、絵本や本を備えた居場所を開設することに至りました。このライブラリーは、家庭の経済状況や子どもたちの特性に関係なく、0歳から10代であればだれでも無料で利用でき、文化体験や食の提供なども得られます。また、準備が整い次第、学習支援や10代食堂なども行っていきます。



## 特徴

この活動では「社会的処方」の考えを取り入れ、NPO 法人ムラのミライのメタファシリテーションを身につけたスタッフや看護師、保育士などの専門家が子どもたちの声を聞き、必要に応じて地域資源や公的支援につなげていきます。また、10代の若者の居場所が西宮市内にほとんどないため、ユースセンターとしての役割も担っています。不登校の子ども達や発達課題のある子どもたちにも来てもらえるように市内の団体との連携を進めます。また、10代の若者が居心地よく過ごせるよう、学生や20代のボランティアやインターンに中心になって活動を運営できる体制づくりをめざします。

## プレオープン日

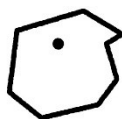
**実施概要：**ライブラリーの中の様子をご覧ください。当団体スタッフが個別にご説明、対応いたします。

**日時：**プレオープン（内覧会）8月1日（火）11時～18時

**場所：**西宮市六湛寺町12-5

**参加対象者：**関心のある方であればどなたでも。近隣の方、関係団体、行政関係課、メディア、議員等

## 本件問い合わせ先



たねとしずく  
こどもサポートステーション

こどもサポートステーション・たねとしずく

担当：大和 TEL 070-3398-0380

Mail [tanetosizuku@gmail.com](mailto:tanetosizuku@gmail.com)

プレスリリースは当ホームページ「お知らせ」からダウンロードいただけます。